



朗読劇

一幕四場

俳優 中村敦夫が書き下ろし、演じる
元原発技術者の独白

線量計が鳴る

○ 梗概 ○

○ 一場

原発の町で生まれ育ち、原発で働き、そして原発事故ですべてを失った主人公の個人史。

○ 二場

原発が作られ、日本に入ってきた事情。原発の仕組み。福島事故の実態。

○ 三場

主人公のチェルノブイリ視察体験。被曝による医学上の諸問題と現実。放射線医学界の謎。

○ 四場

原発を動かしている本当の理由。利権に群がる原子カムラの相関図。

全国各地上演会場は定員を上回り、当日券を用意できないケースが相次いでいます。参加希望の方は、お早めに前売券をお求め下さい。

2018 11/7 (水)

18:00 開場 / 18:30 開演
(20:30終演予定)

宮城野区文化センター パトナシアター
(全席自由 定員198名)

前売券：2,000円/当日券：2,500円/中高生：1,000円
*小学生以下無料

問い合わせ・電話予約：

080-9639-2691 (服部) 070-5323-1939 (大石)

メール問い合わせ uganhits@gmail.com (右岸の羊座まで)

主催：朗読劇「線量計が鳴る」仙台実行委員会

後援：朝日新聞仙台総局 河北新報社 毎日新聞仙台支局